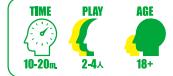


## 離婚に有利な証拠を集めれるカードゲーム



なんだか旦那の様子がおかしい…?  
そんな、妻の「カン」も  
たくさん集めれば証拠になる!!

時には探偵に依頼し、証拠を集め、有利に離婚準備を進めるカードゲーム。  
いざというときは弁護士の力を借りることだってできる!  
証拠を突きつけ「離婚届にサインしてッ!!」



### 【基本セット: 内容物】

#### 証拠カード29枚

- ・万能証拠1枚
- ・[不貞]弱い証拠7枚+強い証拠1枚
- ・[モラハラ]弱い証拠6枚+強い証拠1枚
- ・[暴力]弱い証拠6枚+強い証拠1枚
- ・[嫁姑]弱い証拠5枚(内2枚トメカード)+強い証拠1枚

#### 弁護士カード1枚/探偵カード2枚

(合計32枚)

報酬金券/20枚 慶謝料券/18枚

### 企画・制作: つねげらぼ ひとりひとり

#### Production STAFF

- ゲーム設計: ひろかわなみ
- アートディレクション: 安藤昭一
- ルール監修: とりげえむず
- アートワーク: ひろかわなみ
- イラスト: はるのイロ
- 協力: イマリツコ・星合摩美・横野めぐみ
- 法律監修: 弁護士 畑 福生  
(川崎町角法律事務所 <http://www.kawagou.org/>)
- お問い合わせ: info@tsunaga-lab.com
- 公式サイト: <http://tsunaga-lab.com>
- <http://hitori-to-hitori.com>

### ゲームの準備

◆スタートプレイヤーを決めます。決め方は自由です。離婚経験者の方とか一番最近に結婚した方、ジャンケンなど、なんでも自由に決めてください。

◆カード置場の準備をします。基本的には、この図のような配置になります。

◆スタートプレイヤーは証拠カードをよくシャッフルして、プレイヤー全員に4枚ずつ配ります。残りの証拠カードを、山札置場に証拠面を伏せる形でセットします。

◆報酬金券を配ります。

基本セットのみでプレイする場合は



5金(報酬金券5枚)、拡張セットを含めてプレイする場合は6金(報酬金券6枚)となります。

◆探偵カードAと探偵カードB、弁護士カードを、それぞれキャラクター面を上にして、図のようにセットします。



### ゲームの基本的な進め方

◆スタートプレイヤーから時計回りに進行します。

自分の手番では、

①山札置場から証拠カードを1枚引く

次のプレイヤーも①②③を行い、最終ラウンドまで繰り返す。

★山札の証拠カードが無くなったらスタートプレイヤーが捨札置場のカードをシャッフルして山札置場に補充する。

②引いた証拠カードとすでに持っている手札の中でいらないと思ったカード

(集めている証拠ではないカードシリーズや点数の低いカードなど)1枚を捨札置場へ捨てる

各プレイヤーが①②③を繰り返していくなかで、自分の手番が来たときに、  
必要に応じて「探偵カード」を使って也可

※「探偵カード」の使い方・ルールについては、裏面の「各カードの説明」をご覧ください。

自分の手番で引いた証拠カードで役が揃ったら「離婚届にサインしてッ!!」とコールしてあがる

「弁護士カード」を使ってあがることもできる

※「弁護士カード」の使い方・ルールについては、裏面の「各カードの説明」をご覧ください。

「離婚届にサインしてッ!!」とコールして最初にあがったプレイヤーが出ても、ひとまわりするまではこのラウンドは終わりません。慶謝料券は、役の揃った上位3位までもらえます。

●「離婚届にサインしてッ!!」とコールしてあがったプレイヤーが出た場合の他プレイヤーが最終手番でできること。  
①②の行動をして揃わなければそこで終了。最終の手番だけ、①②で引いた証拠カード+「弁護士カード」を使って役ができる時は「弁護士カード」を使ってあがることもできる。ただし、カードの総得点が低く他のプレイヤーに勝てない場合や「弁護士カード」を使って報酬金券を【マイナス1金】にしたくない場合はおりてもよい。

あがったプレイヤーが慶謝料券を受け取って1ラウンド終了

◆この流れを3ラウンド繰り返してゲーム終了。

もっと多くの慶謝料券を獲得したプレイヤーが勝者となります。

※あがりと慶謝料券のルールについては、裏面の「あがりと慶謝料の配分について」をご覧ください。

※次のラウンドのスタートプレイヤーは、そのラウンドでもっと多くの慶謝料券を獲得したプレイヤーの左となりのプレイヤーとなります。

### 各カードの説明

#### 強い証拠カード

カード点数の部分が★

#### カード点数

数字が多いほど  
証拠能力が高い

#### 弱い証拠カード

カード点数の部分が●

#### 各シリーズ(カテゴリー)

シリーズとセット枚数

この部分に「拡」と  
入っているのは「拡張版」

### 万能証拠カード

どのシリーズでも強い証拠として使  
える「万能証拠」。どのシリーズでも  
使って、役を揃えやすく、あがりやす  
くなるため、例外的に点数は低い。



#### 探偵カードA



自分の手番が来たときに、2金(報酬  
金券2枚)で山札置場のカードの上  
から3枚を見ることができ、欲しい  
カードは3枚の範囲内で交換でき  
る。いらないカードは捨札置場の上  
に捨てる。

#### 探偵カードB



自分の手番が来たときに、2金(報酬  
金券2枚)で捨札置場のカードすべ  
てを見ることができ、欲しいカードが  
あれば、1枚だけ交換できる。見る  
ときは、カードが混ざないように見  
る。交換し、いらなくなつたカードは  
捨札置場の上に捨てる。

#### 弁護士カード



弱い証拠3枚+強い証拠、弱い証拠  
4枚など、あと一枚で役が揃うとき、  
自分の手番で、1金(報酬金券1枚)  
で弁護士カードを使い、あがること  
ができる。

注)最終の手番だけ、引いた証拠カード+「弁護士カード」であがってもよい。

### あがり役一覧

同じシリーズ【色】の  
弱い証拠4枚+強い証拠1枚



同じシリーズ【色】の  
弱い証拠3枚+強い証拠1枚+弁護士



同じシリーズ【色】の  
弱い証拠3枚+強い証拠1枚+弁護士



※弱い証拠だけでは、5枚(●●●●●)揃つてもあがれません。

同じシリーズ【色】の  
弱い証拠4枚+強い証拠1枚+弁護士



同じシリーズ【色】の  
弱い証拠4枚+万能証拠1枚



同じシリーズ【色】の  
弱い証拠3枚+万能証拠1枚+弁護士



同じシリーズ【色】の  
弱い証拠3枚+強い証拠1枚+万能証拠1枚



同じシリーズ【色】の  
弱い証拠3枚+万能証拠1枚+弁護士



### あがりと慶謝料の配分について

◆あがりと慶謝料券の配分について

「離婚届にサインしてッ!!」をコールして、最初にあがったプレイヤーが出ても、ひとまわりするまではラウンドは終わりません。ひとまわりする間にあがったプレイヤーが山札から見たときは、そのトメカードは嫁姑シリーズの証拠カードと同様に、欲しい場合は自分の手札とし、いらない場合は捨札置場に捨てる。この場合は、特殊カードとしては使用できない。

◆慰謝料券は以下の通りに配分されます。

①そのラウンドで最初にあがったプレイヤーは、カードの総得点関係なく▶慰謝料券1枚獲得  
※ひとまわりして、他にあがったプレイヤーが出なければ、そのラウンドで獲得できる慰謝料券は1枚までです。

②ひとまわりして他にあがったプレイヤーが出た場合

▶最初にあがったプレイヤーも含め、カードの総得点が1番高いプレイヤー▶慰謝料券2枚獲得

例)最初にあがったプレイヤーが1番高い点数だった場合▶慰謝料券1枚+2枚で計3枚獲得  
例)最初にあがったプレイヤーと後にあがったプレイヤーのカードの総得点が同じだった場合

最初にあがったプレイヤー▶1枚+2枚で計3枚獲得 後にあがったプレイヤー▶2枚獲得

例)後にあがったプレイヤーが2人いて、2人のカードの総得点が同じだった場合▶それぞれ2枚獲得

▶2番目にカードの総得点が高いプレイヤー▶慰謝料券1枚獲得

※この時点で2人しか慰謝料券を獲得しておらず、  
3番目にカードの総得点が高いプレイヤーがいる場合はそのプレイヤーも1枚獲得



最後に、ちょっと真面目なお話を少しだけ。私たち一般社団法人ひとりひとりは、【おひとりさま】向けのフリーマガジン「ひとりひとり®」を発行している団体です。「孤独な人向けの雑誌なんだね」「私には関係ないわ」と言われることがよくあります。私たちは、決して「孤立無援」の生き方をオススメしているわけではありません。私たちが提唱したいのは、まさに「ひとり」と「ひとり」、お互いの「個」を尊重し、支え合う、いわば「個立有援」の生き方です。このゲームは「離婚」をとりあげたものですが、別に「離婚を推奨すること」を目的としてつくったものではありません。離婚は、するもしないも、その当事者ひとりひとりが判断し、決断すればよいことだと考えています。過去最新の日本の統計(2016年)では、離婚の件数は約62万,000件。そのうち離婚の件数は約21万,7,000件で、要するに3組に1組が離婚しているということになります。もちろん単純な件数の比較ですが、それだけ経験なさっている方も多いということ。よく「バツイチ」とか「バツ二」とか、「バツ」をつけて、まるで悪いことのように言いますが、もはやそんな時代ではないんじゃないのかと、思いませんか? このゲームの目的は、「離婚に有利な証拠を集めること」ですが、それをすることで、さまざまな離婚の原因や、その「重さ」を知ることができます。例えば「ゲームでやるなんて不謹慎だ」と、かつて言われていた「防災」も、いまやゲームで楽しめながら行なうことになりました。楽しめながらやれば身につきやすい、理解しやすい…。「知る」ことは決して悪いことじゃない。いざその時になれば、それは必ず役に立つ。それが、このゲームです。このゲームでは、便宣上シリーズ(カテゴリー)分けをしてますが、1組の夫婦でその垣根を超えて、同時にいろいろな原因が並行して発生することもあります。また、実際には離婚をするしないに加えて、子どもの親権や面会交流、養育費、財産分与、婚姻費用、慰謝料、年金分割など、さまざまなことが問題となってくる場合もあります。さらに、夫婦の年齢、職業、婚姻歴の長さ、子どもの有無や年齢など、さまざまな事情が関係してきます。つまりは「奥が深い」と…。次はそんなゲームにもトライしてみたいと考えているところではあります。